

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	27	事業名	文化の家事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款－項－目)			
	その他(関係計画、要綱等)	有	ながくて未来図(長久手市第6次総合計画)(H31.3) 長久手市文化芸術マスタープラン(H30.3)			9-4-5 文化の家施設費
	事業開始の背景、経緯等	本市は、歴史の中で培われ継承・発展してきた風土や伝統文化を持ち、近隣含め、大学が多数存在し、地域には学生や芸術家、専門家が多数在住している。地域の特性と市民一人ひとりの個性を活かしつつ、人々が協力で新たな魅力ある文化芸術の創造を図る。豊かな地域社会が織りなす質の高い生活空間を創出することにより、市民がゆとりと潤いに満ち、生き生きと誇りを持っているまちを目指す。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市の文化芸術政策の基本理念『ともに創る きらめく長久手』を実現するために、文化芸術マスタープランの3つの基本方針のもと、6つの事業に取り組む。事業については、重点的な5つの施策を定め、今計画期間において特に力を入れて取り組む。これらの取組を基礎にして、さまざまな分野に文化芸術を活用していく。
	事業対象	市民及び団体の施設利用者並びに来館者 (誰、何を対象にしているか)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市が、「暮らしが楽しい地域・環境の創出」、「地域の活力の向上」、「主体的なまちづくりの担い手の育成」、「経済の活性化」等によって快適で魅力と活力のあるまちを実現し、市民が地域に愛着と誇りを持つことができるようにする。

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	事業費(A)	千円	予算	219,818	210,716	214,926	211,881	232,965
			決算	212,251	207,453	243,525	211,915	
	人件費(B)	千円	決算	44,117	36,780	36,472	40,005	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	256,368	244,233	279,997	251,920	
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		499,284	458,006	180,951	318,911	400,000	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		1	1	2	1		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	施設使用料収入	千円	目標	19,296	21,680	23,756	23,756	27,677
			実績	23,756	19,383	11,015	31,404	
(指標の設定根拠) 文化芸術活動の動態と利用者サービスの評価を示すものであるとともに、運営の基盤となるものであるため。 (前年から指標を変更した場合はその理由) (前年までの指標)	(数値目標の根拠) 原則として、予算額を目標値とする。これは、過年度の実績を考慮し、事業成果が次年度に反映されるようにするためである。 (新型コロナウイルス感染症対策による閉館及び利用規制により、令和元年度、令和2年度は目標値の達成は困難な状況であった。)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) コロナ禍で令和2年度に収入の落ち込みがあったが、令和3年度に抗菌、抗ウイルスコーティングを実施し、安心安全な施設管理運営に努め、高い利用率を維持し、入館者は前年度比17.6%の伸び率で目標値を超えることができた。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 消毒、換気等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したことから、休館することなく運営することができた。近隣の会館や他施設が休館したことも影響し、会議室等の利用率は、非常に高い水準であった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 市民の文化活動や企業の会議、研修の部屋利用で高い利用率を維持しているため、時間帯により貸し部屋が飽和状態である。行政利用を抑制し、貸し部屋の収入を増やすことが課題である。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	創造スタッフ創造活動事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 創造スタッフ創造活動事業による 市民参加の延べ人数	人	見込 実績	1,500 1,811	2,000	2,500	3,000	3,500
	(2) 社会貢献につながる取組を行う アーティストの人数【累計】	人	見込 実績	6 6	6	6	6	6
	(3)		見込 実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・おんぼく関連事業(3回) 276人 ・おんぼく関連事業(8回) 826人 ・企画展示事業(1回) 545人 ・児童館テリバー事業(4回) 116人 社会貢献事業として、支援を必要とする人々が文化芸術に触れる場を造るアウトリーチ等を実施。							今後の方向性	拡充

事業を構成する 事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績					
	(3)		見込 実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績					
	(3)		見込 実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 舞台管理、受付、清掃等の民間委託を積極的に進めてきたが、施設管理の委託料と経年劣化による修繕料が支出の大半を締める状況にあり、収支の差が課題となっている。故障してから修繕するのではなく、計画的な予防修繕に努め、経費削減に努める。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和6年度から令和7年度までに、天井改修工事と平行して空調設備修繕や照明のLED化を実施し、長期的な経費削減を図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	「今後の方向性」にあるとおり、計画的な予防修繕に努め、経費の削減に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、管理の見直し検討を早急に進めてください。
内部意見への回答		